

＜中四国・九州最高層 52 階・住宅×商業×業務の大規模複合開発＞
「広島駅南口 B ブロック第一種市街地再開発事業」
“広島駅前の新ランドマーク” 着工

＜平成 25 年 4 月 12 日(大安) 起工式挙行＞

広島駅南口 B ブロック市街地再開発組合(理事長:前岡 眞仁)は、「広島」駅の南口駅前で施行している「広島駅南口 B ブロック第一種市街地再開発事業」が、このたび建築工事に着手いたしましたのでお知らせします。

本事業は、住宅を中心に商業、公共施設等が入る 52 階建ての西棟と、駐車場や店舗として使用する 10 階建ての東棟で構成される延床面積約 12 万㎡の大規模複合開発で、高さ約 193m の西棟は、広島県内のみならず、中四国と九州で最高層の建物になる予定です。

住友不動産株式会社(本社:東京都新宿区西新宿 2-4-1、代表取締役社長:小野寺研一)は、平成 18 年に事業再構築パートナーとして選定されて以降、再開発組合ならびに広島市等、関係者と協議を重ね、事業を推進してまいりました。本事業では参加組合員として、西棟住宅部分のうち 12 階の共用部を除く 13～52 階の保留床を取得し、分譲マンション 471 戸(総戸数 514 戸)を販売いたします。なお、西棟地下 2～地上 3 階の店舗部分(約 8,550 ㎡)には、ビックカメラが出店する予定です。

広島駅南口 B ブロックは、「広島」駅に隣接したエリアながら老朽化した建物が密集し、これまで効率的な土地利用がなされておりました。本事業では、駅前の新たなランドマークとなる超高層建物等を整備し、商業・業務機能の集積と都心居住の推進、あわせて防災性の向上を図るもので、広島の陸の玄関に相応しい都市機能を充実させ、駅周辺地区の活力とにぎわいの創出を目指します。



＜建物完成予想パース＞

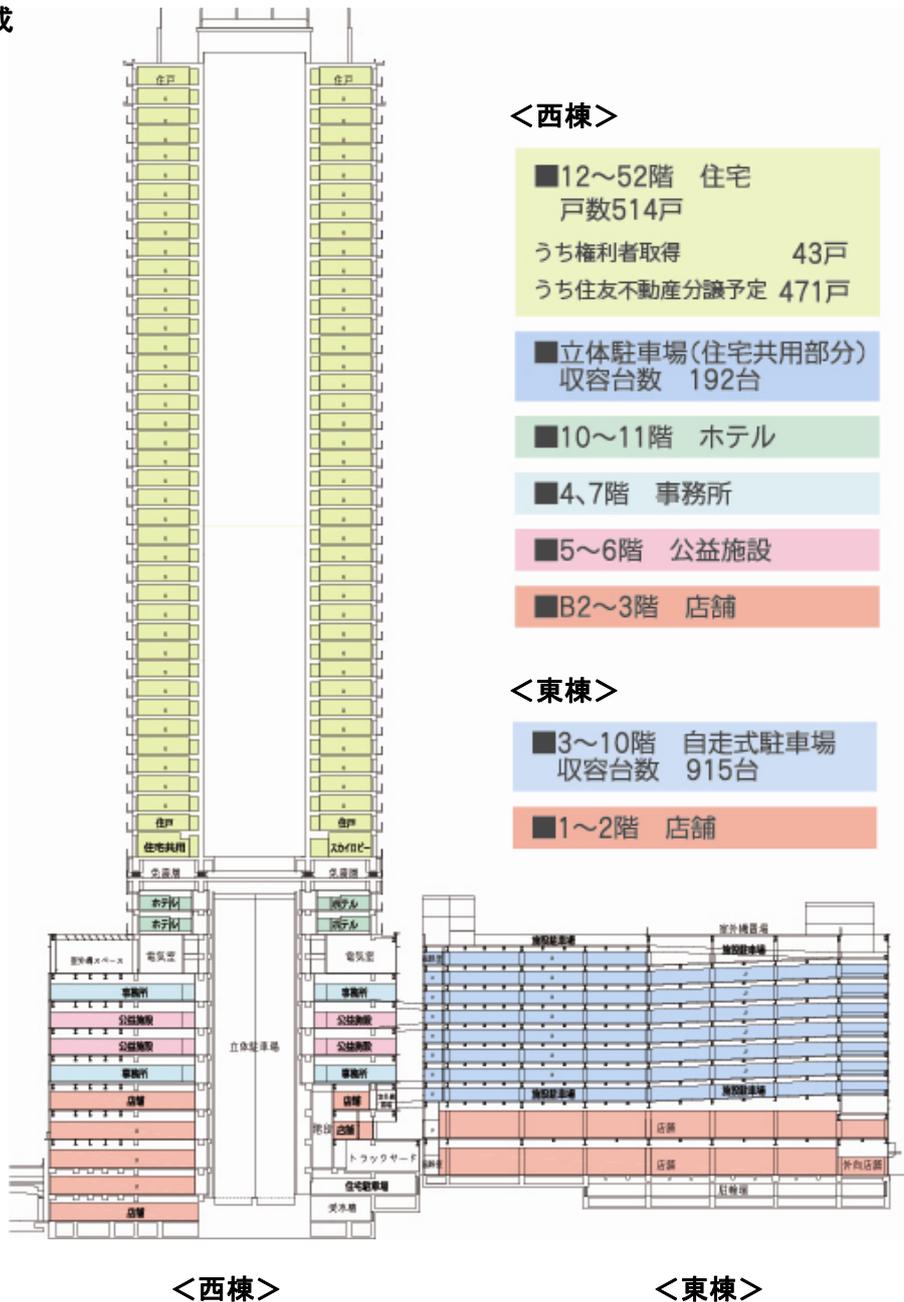


＜施行地区位置図＞

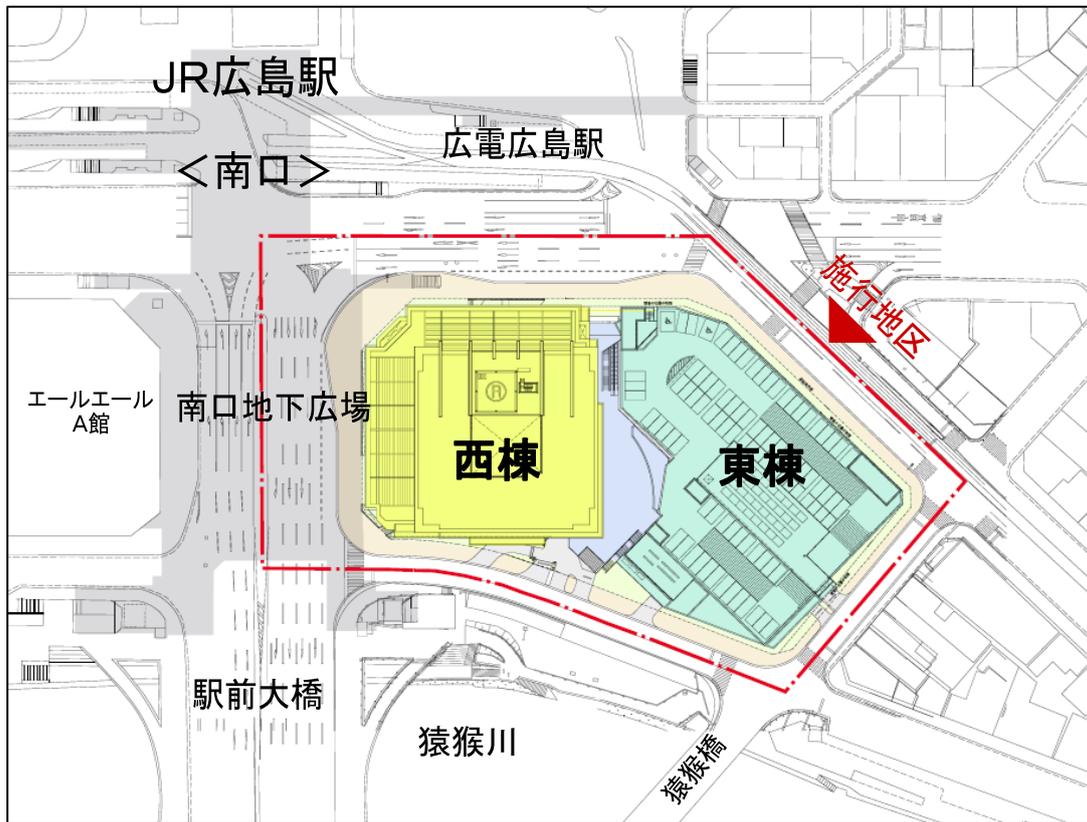
◆ 事業の概要

事業名称	広島駅南口Bブロック第一種市街地再開発事業
施行者	広島駅南口Bブロック第一種市街地再開発組合(理事長:前岡 眞仁)
施行地区	広島市南区松原町5,6,7,8番および猿猴橋町3番外
施行地区面積	約1.4ha
敷地面積	約8,300㎡
建築面積	約7,500㎡
延床面積	約124,800㎡(西棟:約89,000㎡ 東棟:約35,800㎡)
主な用途	西棟:住宅、店舗、事務所、公共施設、ホテル 東棟:店舗、駐車場、駐輪場
規模	地下2階地上52階建て(一部地上10階建て) 高さ約193m
構造	鉄筋コンクリート造及び鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造(中間免震構造)
総事業費	約353億円
参加組合員	住友不動産株式会社、株式会社ビックカメラ
施工者	前田建設工業株式会社
設計管理	株式会社アール・アイ・エー

◆ フロア構成



◆ 建物配置



◆ 主な事業経緯と今後の予定

昭和56年	5月	広島駅前Bブロック地区再開発準備組合設立
昭和62年	12月	核テナント(株式会社西武百貨店、藤田観光株式会社)の決定
昭和63年	9月	都市計画決定告示
平成4年	1月	広島駅南口Bブロック市街地再開発組合の設立認可
平成6年	5月	株式会社西武百貨店と出店覚書の解除
平成8年	5月	藤田観光株式会社との出店覚書の解除
	12月	株式会社JALホテルズと基本合意書締結
平成12年	9月	株式会社JALホテルズと基本合意書の解除
平成15年	7月	都市再生緊急整備地域(広島駅周辺地域)の指定
平成18年	2月	事業再構築パートナーとして住友不動産株式会社を選定
平成19年	2月	市街地再開発組合、住友不動産株式会社、広島市の三者で事業の推進に関する覚書締結
平成20年	3月	都市計画決定告示
平成23年	3月	株式会社ビックカメラと参画覚書締結
平成24年	5月	参加組合員(住友不動産株式会社・株式会社ビックカメラ)の決定 特定業務代行者(前田建設工業株式会社)の選定
	10月	権利変換計画の認可
平成25年	3月	施設建築物着工
平成28年	6月	施設建築物全体竣工(予定)

＜事業全体に関するお問合せ先＞
 広島駅南口 B ブロック市街地再開発組合
 事務局 担当：政木 TEL 082-263-3196

＜住宅部分に関するお問合せ先＞
 住友不動産株式会社 広報課
 担当：田中 TEL 03-3346-1042